

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山 4・45・10（八四六一八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山 4・7・1

NPO 総ぐるみ福祉の会 第14回通常総会を開催

先般、5月23日（土）の午前11時より、西
洗・港南プラザ自治会館1階ホールにて、NPO
総ぐるみ福祉の会の第14回通常総会が開か
れました。

会場には、恒例となった
大橋綾子さんご寄贈の盛り
花が華やかに飾られ、また、
これも恒例の坂巻武さんが
達筆を振るってくださった
横断字幕（入り口の立て看
板も）が掲げられておりま
した。新見宏さんの司会に
よって総会は始まりました。
開会冒頭に、宮崎浩子理
事長が「大勢の方に出席
いただいて、たいへん嬉し
いです。今日は、NPOに
についてお話ししたいと思います。
当会は、NPO法が出
来て4年目に立ち上げまし
たが、当時に比べると昨今
は日常的にNPOという言
葉が使われるようになって
います。NPOとは、非営
利活動でボランティア活動



をする団体ですが、行政がおおきな社会問題を、
NPOは身近な社会問題を解決することを使命
とする団体といえると思います。NPO 総ぐる
み福祉の会の使命は、高齢化した日限山地区に
住む方々のお役に立つこ
とです。そのため介護保
険法による介護事業者にな
って、介護を必要とする
方々のお世話をしてお
ります。日限山荘におけ
る昼食サービ等のボラン
ティア事業も行っていま
す。今後も、日限山地区
の高齢者が、楽しく快適
にこの地域で暮らしてい
けることを目指して、活
動していくつもりです。」
と挨拶されました。

続いて議長に岡野美樹
氏を選出して、総会員数
一二〇人中、出席八九人、
委任状提出二五人で総会
の定足数を満たすことが
確認されました。まず議
事録署名人に、理事長の

宮崎浩子氏、議長の岡野美樹氏、坂巻武氏を指
名して、議事に入りました。

平成26年度の事業報告を宮崎理事長が行い、
決算（活動計算書）報告を小野理事が、続いて
監査報告を新見監事が行い、挙手によって可決
されました。

続いて平成27年度事業計画を宮崎理事長が、
活動予算を小野理事が提示して、原案どおりに
可決されました。

今年度の主な事業計画は次のとおりです。

◎「日限山荘」での事業

週2回（火曜・金曜、8月は休み）の昼食は、
地域のボランティアの方々の努力によって、出
来立ての食事を召し上がっていただく、楽しい
交流の場所になっているので、いっそう充実を
はかる。食後も、おしゃべりを楽しみ、布草履
作りや健康体操、マッサージ体験を行うなど、
老化防止にも取り組んでいく。

◎居宅介護サービス事業

将来のために、昨年に引き続いて若年ヘルパ
ーを増員して、社内研修や社外研修で技術の向
上を図っていく。また、手間はかかるものの、
移送介護サービスに取り組んでいく。

◎地域内外の広報活動の充実

「総ぐるみ新聞」やホームページの充実をは
かります。特に新聞の紙上では介護情報を積極
的に紹介していく。

◎交流事業・生涯学習の充実



る高齢者にとつて、寝たきりになる恐れがある転倒・

アトラクションは、立石昌子氏のピアノ伴奏、藤井香代理事の司会で始まりました。「茶摘」「夏は来ぬ」「幸せなら手を叩こう」他2曲を歌いました。

続いて、お待ちかねの高山富男氏によるチエロ独奏は、立石昌子氏のピアノ伴奏によって「涙そうそう」「また君に恋している」「知床旅情」「時の流れに身をまかせ」「川の流れるように」の5曲が演奏され、会場の皆様、その美しい音色に聞きほれました。再び会場の出席者の合唱により、「みかんの花咲く丘」「鎌倉」「赤い靴」「琵琶湖周航の歌」を歌いました。続いて、NPO会員の多数を占め

アトラクションは 出席者による大合唱とチエロ独奏

日限山荘とは別に、事務所を活用して「手芸サークル」「男の料理」「きむら・コーヒ」等「総ぐるみ囲碁交遊会」等の交流事業を行う。

「お出かけサポート」は、春・秋の2回行う予定である。「講演会」「見学会」なども、積極的に取り組んでいく。

《ご寄付

骨折を防ぐために、日常生活上の注意点を歌詞に盛り込んだ「上を向いて歩こう」の替え歌「下を向いて歩こう」を大合唱した後、懐かしい童謡「故郷」を歌って、終了しました。

《ありがとうございました》

昨年度も、大勢の皆様からNPO総ぐるみ福祉の会に、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

5月 網頭昌子様 山地廣尚様 岡野美樹様
築地眞佐子様 今川富佐子様 ひぎり社協様

7月 沖高子様 小高典子様 小林一彦様

8月 相馬好子様

9月 浅井すみ子様 菅沼永子様 石塚俊博様

12月 廣田明子様 小林一彦様 近藤ギヌ様
築地眞佐子

1月 山本博子様

2月 大橋達様 三井瑞龍様

3月 日立親切会関東支部様

古浴衣、ご寄贈の

お願い

ゆかたの古着はありませんか？ご寄贈下さい。履き心地のよい、布草履を作っています。また、一緒に布草履を作しませんか。

連絡先(事務所)
846-8850

～介護の現場から～

あなたならどうします？「年をとってからの転居」問題

年をとってからの住居移転は計り知れないエネルギーを使うという覚悟が必要です。

身の回りの品々を大処分するうえに、今までの友達や近所の人達とのつながりを断ち切れるのかと言う覚悟もまた必要なのです。

先輩からつぎのような話を聞きました。

年をとってから我が老い身の始末をどうするか？は、考えてはいましたが、度胸がないというか、結論や決心はなかなかつかないまま過ぎてきました。そしたら妻が突然、遠く離れた所に住む娘の所に引っ越したいという強い希望を言い出しました。自分

としては、この年になって、住み馴れた土地から移る気持ちはなかったものの、妻の希望に添って、娘の所に移る決心をしました。

いざ、移転のために、家財の整理・処分を始めてみたものの、そのあまりにも大変な作業に連日疲れ果て憂鬱な気分が続いて、ついに作業ができなくなってしまいました。妻も同様でした。そこで、夫婦でもう一度十分話し合い、出した結論は、この地で、この自分の家で最後まで老いたいということになりました。

皆様ならどう悩み、判断されますか？

(一柳 朗)